



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「不離一体・中小企業経営に役立つ同友会活動の実践」 ～ 同友会活動が企業を支え、地域を育てる～



代表理事

金 井 政 春

謹 賀 新 年

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も会員の皆様にとって輝かしい1年になる事を心より祈念申し上げます。

会員の皆様には常日頃から同友会活動、運動にご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

今年は皆さん御存知のように5月より平成から新しい元号へ変わる記念すべき年であります。人生において何度も経験できない貴重な記憶に残る1年となる事でしょう。

長崎同友会においても30年振り3回目の全国大会となる「第49回中小企業問題全国研究集会」が2月21日・22日にホテルニュー長崎をメイン会場として開催されます。全国から1000名を超える会員の皆様を迎え1250名規模で開催されます。12月10日の申込み初日から200名を超える県外会員の皆様からの参加申込をいただき、長崎へ

の関心の高さと長崎同友会への期待を痛感しました。開催まで残り僅かとなりましたが、松尾実行委員長をはじめ実行委員会の皆様を中心とし会員の皆様の総力を結集し、全国の会員の皆様へ満足いただける学びの場を提供し長崎の魅力をアピールしましょう。

長崎同友会は739名の過去最高会勢で新年を迎える事が出来ました。同友会が目指す「企業づくり」「同友会づくり」「地域づくり」の更なる充実を図る上において会員増強は必要不可欠となります。また、委員会活動もより活発化を目指し会員の皆様の学べる機会の拡大を図っていききたいと思います。

今年は10月の消費税増税、慢性化しつつある人材不足、社員の定着・効率化を考慮した働き方改革、労働環境の整備、社員教育、後継者問題、財務の問題等、経営課題はつきませんが会員の皆様の英知を結集し経営課題克服に取り組む長崎同友会を目指しましょう。今年も会員の皆様の絶大なる御協力をお願いしますと共に、今年1年のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

目 次

代表理事新年挨拶	1	会員活躍	13
各界からの提言	2	事務局企業訪問	14
12月例会報告	3	新入・復会会員紹介	15
青年経営者全国交流会 in 沖縄 参加報告	8	理事会報告	18
九州・沖縄ブロック事務局研修交流会 参加報告	10	会員動向・会員数	19
ダイバーシティ委員会 アンケート結果報告	11	全研開催案内	20

「会員中小企業家に向けての提言」

株式会社テレビ長崎 代表取締役社長 宮前 周司



プロフィール

- ・1952年12月兵庫県尼崎市に生まれる。
- ・都留市立都留文科大学卒、1977年4月 関西テレビ放送(株)入社。
- ・報道部の記者、ディレクター、デスクとして、国内外のドキュメンタリー取材、阪神淡路大震災の取材などを担当。
- ・その後、総務局長等を経て、2008年6月、同社、取締役、
- ・2012年6月、同社、常務取締役、2016年6月、同社、専務取締役。
- ・2017年6月より株式会社テレビ長崎、代表取締役社長。

KTN・テレビ長崎の宮前でございます。一昨年の6月下旬に関西から長崎にやってきました。テレビの世界に入りましてからは報道記者や総務関連の仕事をしておりまして、財界の方々とお付き合いをいただく機会も少なかったのですが、長崎に来てからは、ありがたいことに多くの先輩諸氏にご指導をいただいております。そして最近、皆様方からお話をうかがう度に実感しているのが、今あらゆる業界が「過渡期」に差し掛かっているという時代の空気感です。

古くは主要エネルギーが石炭から石油に移行したように、レコードがDVD、そして配信へと展開していったように、また写真がデジタル化し、さらに静止画も動画も容易に撮れるスマホの出現によってカメラを不要とする人すらいるように、技術革新などによって時代は常に変化しています。写真フィルムのメーカーが本業で培った技術を駆使して化粧品業界に乗り出したりする昨今、危機をチャンスに変えられるか否かは、まさに経営者の的確な時代認識と果敢な判断にかかっていると言っても過言ではないでしょう。

かつて170万人の県民を擁し、国家を支え

る重厚長大産業が活発な活動を展開していた長崎ですが、いまや年間1万人が県外に流出し、「交流の産業化」という言葉が象徴するように県下の産業構造もすっかり変化したかの感さえ致します。

そんな中で私がお目にかかり、お話をうかがった時代の先頭を走る経営者の方々には、ある共通点がありました。それはお客様ファーストの眼差しです。彼らは、世界の情勢を注視しつつ、技術力や伝統の力など会社のポテンシャルを見極め、時代の要求とお客様のニーズに鋭敏かつ確実に応えることで過渡期を軽やかに跳び越えていらっしゃいました。

私どもテレビ業界はかつて最新のニュースや娯楽をお茶の間にお届けする唯一のメディアとして多くの皆様にご支持を賜りました。そして今、インターネット配信やSNSなどの充実によって大きな転換期を迎えていますが、皆様方から頂戴したヒントを活かし、これからもお客様のニーズをしっかりと見据えて時代に向き合っていきたいと思っています。

以上

長崎浦上・出島支部 合同例会報告

日 時	12月13日(木) 18:30～21:00
会 場	ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート
テ ー マ	人を活かす教育(共育)とは！ 西校長 大いに語る
報 告 者	南山高等学校 校長 西 経一 氏

平成最後となります12月例会は、長崎出島支部との合同忘年例会に100名を超す参加をいただき盛大に執り行われました。

第一部として、長崎南山高校・西校長先生の大笑い有り、感動の涙有りのとても素晴らしい講話を拝聴しました。現代の生徒達に対する接し方、また私立高校であるがゆえの生徒募集の難しさなどを実際のエピソードにかなり際どいジョークを交えられた内容と、また神父として多くの方々との関わりを持つ中で、与えた想い、与えられた想いを時に感慨深く話していただきました。

その中でも、この日西校長が私達に最も伝えたかった想いとは、親が我が子に与えるような「無償の愛」の深さを再確認する事ではなかったのか、と思いました。改めて、講話の内容を自身の環境に置き換えて考えると、様々な想いが頭の中に浮かんでくるとても貴重な学びとなりました。

第二部は懇親会で会員や多くのゲストの皆さんがテーブルを移動しながらお酒を酌み交わし、語り合いながらの時間を過ごしました。また、五島出身の龍崎



鬼一朗さんによるミニライブに、恒例の会員さん提供の抽選会と、あっという間に時間が過ぎていきました。

最後は、いよいよ2月21・22日に控えました長崎全研に向け、その成功を誓い合う掛け声と共に大盛況のうちに無事終了いたしました。

(文責 長崎浦上支部 小川 悟)



12月は長崎浦上支部と長崎出島支部の親睦を図る為、合同忘年例会を行いました。その中で長崎南山学園 校長の西経一氏に報告していただきました。西校長の教育の考え、生徒に接する態度を笑い涙を交えて話していただき、会員の皆さんも真の教育方法を学んだ事と思います。

また、学校教育が企業における共育に繋がる部分が大いにあり、その話の中で人材育成のヒントを見つけた方もいた事と思います。

その後は、長崎の夜景を一望できる会場にて

懇親会が行われ、会員同士の親睦がスタートしました。懇親会では、シンガーソングライターの龍崎鬼一朗氏にライブで盛り上げてもらい、お楽しみ抽選会も行われました。学びあり、笑いあり、涙ありの今年の最後を締め括るとても深い合同例会でした。

(文責 長崎出島支部 本多 邦暁)



大村支部 例会報告

日 時	12月19日(水) 18:30～21:15
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	伝統技術の伝承と人材育成 ～石垣は意思のまことのいしをつむ～
報 告 者	(株)藤本石工 代表取締役 藤本 昇 会員



伝統の技術で重要な文化財などの石垣の修復や復元といった特殊な仕事を手がける(株)藤本石工。平山組や高瀬組(現、高瀬建設)の仕事を中心に先代が開業しました。

藤本さんは、最初の就職は福岡のガソリンスタンドでしたが、地元に戻り家業の石工へ。

先代から大切な思い(技術、精神、熱意をもったの仕事)を引き継ぎ、日々精進しながら全国を飛び回りテレビでも取り上げられるなどご活躍をされました。

2016年、石工の世界で全国では少ない株式会社となりました。社員は5名で社内の人材育成はもちろんですが、石工自体の仕事が無くなってしまわないように、全国の石工の育成にも力を入れておられます。

自分達の地域だけでなく石工の伝統や技術を全国に残していこうという思いに感銘を受けました。

教える立場として自分たちも技術を磨くために、小豆島に集まり勉強会を行っておられます。石工の使う道具を作る会社も現在では少なくなり、自作しているそうです。石工さんが鍛冶をしていることや地域の石に合わせて道具を作っていることに驚きました。

現在、熊本城の石垣の修復にも携わっておられます。しかし、地元の若い石工さんたちに技術を伝え育て、自分たちは出しゃばらずサポートする立場で主役は地元だと言われ、熱い思いが伝わってきました。いつも



言われる横入りをしない(人の仕事を取らない)ということだと思います。

普段はおふざけキャラですが、仕事の話になると真剣になり、報告で現在まで手掛けてこられた石垣の話になるとイキイキしており、石工の仕事が本当に好きだということが伝わってきました。石工のディープな世界の話…面白かったです。

今回の報告では自社だけでなく、周りの同業者と共に同じ志を持って全国にも目を向けて自社の発展、人材育成をしていかなければならないと考えさせられました。

藤本力さん(息子さん)も一緒に仕事をして、同友会にも入会し、がんばっておられます。次回は事業承継の報告を聞きたいと思います。ご報告ありがとうございました。

(文責 宮崎 洋輔)

諫早支部 例会報告

日 時	12月19日(水) 18:30～21:00
会 場	四季の蔵 食楽亭
テ ー マ	諫早支部の今年を振り返って ～各委員会活動等良かった・悪かった～
報 告 者	(有)東友建設 営業 寺尾 昌晃 会員

諫早支部12月の例会は、馬場支部長の挨拶から始まり、寺尾さんから「同友会で学んだこと」をテーマに卓話を聞きました。

その後、委員会ごとにわかれ、今年一年の委員会活



動を振り返りました。そして、各委員長より発表をしていただきましたが、一部の委員会を除いて、ほとん

どの委員会で活発な委員会活動が行われていない実態が浮き彫りとなり今後の課題と思えました。

その後は良いも悪いもひっくるめ、忘年会へと突入し、やんややんやと時は過ぎ、諫早支部の12月例会は締めくくられました。

(文責 前田 義幸)



島原支部 例会報告

日 時	12月20日(木) 19:00～21:15
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	女性経営者のドタバタ奮闘記
報 告 者	特定非営利活動法人 輪が家 理事長 馬場 絵美 会員



馬場さんは多くの資格を取得されており、その中でもユニークな「笑いヨガ認定リーダー」の資格を持っており、まずは例会の冒頭では皆で笑いヨガを実践し明るい雰囲気を作っていました。おそらくデイサービスでも、こんな感じで楽しくアットホームな感じだと思いました。

デイサービスを開所するにあたって三好春樹先生との出会いがあり、また赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくても親子じゃないけど家族という富山型デイサービスとの出会いがありました。また、あなたが始めるデイサービスという本など沢山の本を読んだり、学ぶために色々な所に足を運んだりと凄く行動的で勉強熱心で、いろいろな苦難を乗り越えて開所までこぎ付けられた姿が印象的でした。その中には本人の頑張りはもちろん、旦那様の多大なる理解と応援があったからではと感じました。

開所して最初は少なかった利用者も輪が家の特色を活かしたサービスで増えていき、4年目で黒字、今年はデイサービスを新設され子供さんも誕生され益々充

実し頑張られています。

そんな忙しい中で、同友会へも積極的に参加され、同友会に入会して良かったことを①経営指針書を作成することが出来た ②色々な職種の方と知り合えた ③悩みを共有できる。と挙げられております。とくに昨年、経営指針勉強会で作成された経営理念では「あなたの輪（我）が家になりたい、あなたの心の居場所を提供します」と、想いの詰まった理念を作成されており、また10年ビジョンも明確に作成され行動指針も作られており益々楽しみなデイサービスになっていくだろうと感じました。

本日の例会では出産もされながらデイサービスを新設されるなど、女性のパワーと行動力に色々と学ばせていただいた時間でした。馬場さんの益々のご活躍を祈念いたします。

(文責 横田 耕詞)



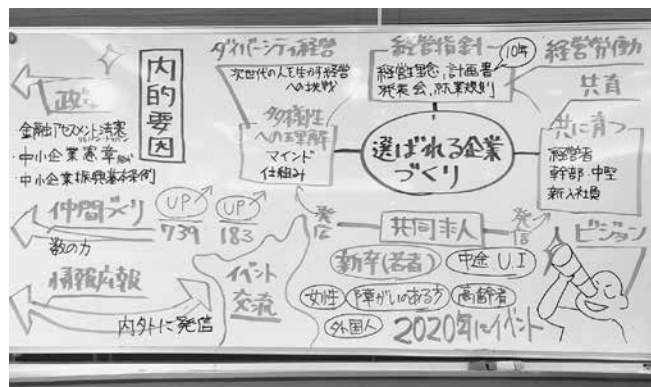
佐世保支部 例会報告

日 時	12月18日(火) 18:30～22:40
会 場	セントラルホテル佐世保
テ ー マ	共同求人概論 ～人材不足の解決は、まず内的要因の解決から～ ～共同求人を知れば、同友会がわかる～
報 告 者	ブライアント(株) 代表取締役社長 橋口 久 会員



今年度から長崎同友会にも「共同求人委員会」が設立されました、その共同求人委員会の概要を橋口さんよりご報告いただきました。

報告ではまず、私たち中小企業の問題を外的要因と内的要因の2つに分けて説明を行われました。外的要因としては人材不足と経済の基礎体力の低下、外国人雇用、若者の価値観の変化、好事例として女性活躍推進法の制定などを帝国データバンクのデータなどを交え報告されました。外的要因のお話を聞いていると、人材についての要因が全てにおいて絡んでいるのだと感じ、やはり近年の一番の問題は人材不足だと思いました。



次に内的要因についてですが、外的要因を解消するためには内的な要因を改善しなければならない、内的要因を改善する手段はすでに同友会にある、それは同友会の各委員会、勉強、情報共有の場だと言われ、経営労働委員会の経営指針や多様性の理解を目的としたダイバーシティ委員会など各委員会の役割を説明され、その中で共同求人委員会の説明がありました。

また、座長のまとめの中で同友会の委員会、勉強、情報共有をつなげてプロデュースをして生き残れる強い会社づくりを目指す活動を行うのが共同求人委員会の役割とのまとめを聞き、私はとても重要な委員会だと感じました。

最後に、「共同求人を知れば、同友会がわかる」とのこと。同友会活動をまだ体系的に掴めていない新入会員さんにとっては、「同友会を知る会」にもなる時間となったと思いますし、会歴の長い会員の方にも改めて同友会活動のすばらしさを知る良い機会になったと思います。

(文責 府川 正樹)

北松浦支部 例会報告

日 時	12月20日(木) 18:30
会 場	平戸市未来創造館 COLAS 平戸
テ ー マ	ふるさと納税日本一の立役者さんに テクニックを学ぶ！
報 告 者	平戸市役所財務部企画財政課 企画統計班 主査 黒瀬 啓介 氏

今回の例会では、平戸市をふるさと納税日本一に導いた活動や要因、これからのふるさと納税、民間企業への出向で得たビジネスの考え方等についてお話していただきました。

1980年生まれ、平戸市出身。2000年に平戸市役所に入庁され5年間の広報担当として成果を上げた後、2012年から移住定住推進業務とふるさと納税を担当され、2014年に寄付金額日本一の達成に



貢献されました。その後、平戸市では初となる民間企業への出向を、2016年7月から1年9カ月間、東京・目黒のふるさと納税サイトを運営する民間企業に出向、2018年3月に平戸へ帰任されました。

まずは2014年にふるさと納税の寄附金額が日本

一となった要因について。全国に先駆けて「カタログポイント制」を採用した点、寄附金額に応じた付与ポイントは有効期限が無く、平戸市の特産品が掲載してあるカタログから、好きな時に好きなものを組み合わせも含めて選べるというものです。また、お礼の品の配送指定ができる点。当時はお礼の品を選ぶのみで、いつ送られてくるのか分からないことが当たり前であったため、平戸市では配送時期を明確にし、寄附者の利便性を追求した「寄附者ファースト」な取り組みを積極的に行っていたそうです。しかし、寄附金額が日本一になった2014年以降、翌々年度は寄付金額が大幅に減少していきます。減少の理由について、競合が増え全国的にお礼の品数が増えたことと、平戸の売り込み方を商品押しから「寄附の使い道」のPRに変えたそうです。過度なお礼の品によって、ふるさと納税で自治体同士が競争を始めると結果的に地方を安売りしてしまう。ふるさと納税は逆に地方の価値を高める事業であると思うと黒瀬氏はおっしゃいます。

実際に平戸市では、ふるさと納税による、平戸の特産品の認知度アップによって、公設民営の直売所「平戸瀬戸市場」が売上・来客共に年々増加傾向にあります。また、平戸での「創業支援事業」の取り組みを行っており、起業を考えている方や、創業5年以内の方に「平戸起業塾」「個別創業相談会」を開催したり、起業・創業の為の多彩な支援を行い事業実績が着実にで、起業者も多数でています。実際にふるさと納税原資の



「創業支援事業補助金」で起業された女性起業家の方も、スイーツを店頭販売だけでなく、多方面へネット販売する人気店として実績を上げているそうです。

民間企業への出向経験による、時代の変化に伴うマーケティングの変化や、「LTV」(Life Time Value・顧客生涯価値)等、今の時代に合った経営方針や考え方に関する様々なお話を伺うことができました。

何もない状態からでも、とにかく行動を起こすことで数々の実績を上げ、持前の行動力で周囲の人々をまきこみ、ひいては地域の人々や地域経済の流れにまで変化を起こしてしまう黒瀬氏の仕事への真剣さと熱意に大変感銘を受け、非常に学びのあるお話でした。

お話しいただきました黒瀬様、本日は誠にありがとうございました。

(文責 上野 健太郎)

五島支部 例会報告

日 時	12月13日(木) 19:00～21:00
会 場	カンパーナホテル
内 容	忘年例会



今年は片山さんが勤めるカンパーナホテルさんで忘年例会を行いました。今回はタイミング良く(株)POLA社が2019年に創業90周年を迎えるという事で、五島で活躍しておりますPOLA AS Blissの松井さんに4名のビデオ撮影スタッフが密着取材



の為に忘年例会へ来ておりました。せっかくですのでカッコいい所をと松井さんにスローガン唱和をお願いしました。取材対象の松井さんが一番緊張している感じでしたが、見ているこちらにも緊張です。

また、同時に(有)五島食産の山本さんが県下一斉仲間づくりのスポンサー賞として見事第一位を獲得され、辻支部長より賞状をいただきました。

その後は毎年恒例である今年の反省と来年の抱負を会員一人ひとりに語っていただき、会員が持ち寄った商品があたるくじ引きを行い、21人が賑わう忘年例会となりました。

(文責 浦上 純人)

青年経営者会 例会報告

日 時	12月18日(火) 19:00～21:00
会 場	長崎料理 草花洛
内 容	臨時総会

12月18日に青年経営者会臨時総会が開催されました。現在、青年経営者会は、会員皆様の団結力と努力により、総数65名、確約まで合わせると77名と今期、安井会長が目標と掲げた100名まで残すところ23名となりました。

臨時総会には、正会員22名の出席、また、ゲスト1名と金井代表理事を始め中村副代表理事、長崎浦上支部より吉澤支部長、西村副支部長、斎藤さん、長崎出島支部より萩田支部長、加瀬副支部長と本会の先輩8名にご参加いただき、総数31名で行われました。

吉川議長の進行のもと、橋本役員選考委員長より2019年度青年経営者会会長の立候補者として長崎浦上支部 飛田精一会員の次期会長の審議が行わ

れ、委任状を合わせ満場一致で可決となりました。そして、飛田次期会長予定者の挨拶では、今年度の青年経営者会会員の長崎県全度への増加に伴い、次年度は県北・県央・県南と三つのエリア長と担当副会長を決めて、来期は会の結束をより強固にしていきたいと目標と決意を伝えられました。

懇親会では、安井会長より、青年経営者会35周年記念バッジを会員全員に授与されました。又、金井代表理事より代表挨拶で、青年経営者の勢いと長崎同友会への活躍へのご期待を寄せていただきました。

本年度、青年経営者会は会員増員と言う目標を掲げ、会員の結束力や新しい会員さんを迎える事でより活発な活動へと進んで行っていると考えます。また、青年経営者会、特有の体験入会の活用により体験入会後に本会への入会の実績もできたため、これからの青年経営者会の活発な活動が、長崎同友会の全体の活性化に繋がる一助となると私自身考えております。

(文責 分部 高)

青年経営者全国交流会 in 沖縄 参加報告

開催日：11月29・30日(木・金)

会場：ロワジールホテル、パシフィックホテル沖縄、沖縄産業支援センター他

第1分科会

青年部活動と企業経営は不離一体！

～学んで実践し会社を発展させるには～

コーディネーター

(株)つくば食品 代表取締役 茨城同友会 **八巻 大介 氏**

パネリスト

(有)日青工業 専務取締役 茨城同友会 **青木 恵之 氏**

(株)村上製作所 代表取締役 広島同友会 **村上 令一 氏**

(株)HONKI 代表取締役 滋賀同友会 **石川 朋之 氏**

仙周工業(株) 代表取締役 宮城同友会 **佐藤 周司 氏**

事務局 田口 友廣

29日に参加した第1分科会では、「青年部活動と企業経営は不離一体」というテーマでパネルディスカッションが行われました。4人のパネラーの一人ひとりが同友会での学びと実践体験をお話しされ、滋賀同友会の石川さんは何もわからない状態から青年部幹事長になり、魅力ある例会づくりや会員に方向性を示すことで、会員を100名まで増強された組織づくりについてお話しされました。

次に広島同友会の村上さんは青年部会長になり青年部会員と共に会の運営を行う中で、自分がいかにワン

マンで人を信用していなかったか、信じて任せて育てる事をしていなかったか、という事に気づき自分を変えるために必死に会活動をおこない自分づくりをされた経験をお話しされました。

茨城同友会の青木さんは同友会の仲間との共同企画商品についてお話しされ、自社の金属加工技術と建材屋さん、木工屋さんと協力することで、新たな商品を作ることが出来たという、企業連携づくりのお話でした。

最後に宮城同友会の佐藤さんは地元の震災復興業務を地域の一員としておこないたかったが、それまで地元での仕事をあまりおこなっていなかった為にあてにされず協力できませんでした。その経験から、地元で新工場を建設。地元の役に立てる会社づくりをおこなっていききたいという思いから、社員と共に経営指針を作り実践することで、地域に必要な会社になり、今後の発展に繋げる事で地域社会貢献の夢を実現させる未来づくりのお話をされました。

その後のグループ討論では、①同友会での学びをどのように会社で実践し、どんな成果を得ていますか？というテーマで討論をおこないました。多く出されたのは全国大会などの学びの場に参加するために社員の方に任せる仕組みづくりをおこなっていることや、会社内だけでなくお客様や同業者にも同友会での学びを

伝えているという意見が出されました。

次に②これから1年間、来年の熊本青全交までにどんな狙いを持って青年部活動を行い、自己または会社の成長にどのような成果を出して行きますか？というテーマで討論をおこないました。このテーマでは、現在青年部に参加する会員が少ないが来年までに会勢を伸ばしてたくさんの仲間と参加したいという意見や、青全交で報告できるような会員を県で育てていきたいといった意見が出され、来年の熊本青全交の盛り上がりを感じた討論となりました。

その後、懇親会場へ移動し会場の設営や余興の龍踊り・物産展など2月の長崎全研に生かせる所も多くありました。次の日の記念講演では病気を克服し最先端の「ボディーシェアリング」研究をされている玉城さんの講演をお聞きし、ただ研究するだけでなく、起業し国内外の企業と協力して自分の夢を実現させるために挑戦しているお話を聴き刺激をいただきました。

第2分科会

未来を拓く「人を生かす経営」

～伝統産業を生き抜く、情勢認識と経営戦略～

(株)宮崎本店 代表取締役会長 三重同友会 宮崎 由至 氏

代表理事 金井 政春

11月29日・30日に第46回青年経営者全国交流会 in 沖縄がロワジュールホテルをメイン会場として全国から1300名、長崎同友会から17名の参加のもと、開催されました。私は14ある分科会の中から第2分科会に参加してきました。報告者の宮崎さんには、7年程前の長崎同友会経営フォーラムの記念講演をお願いしたことを思い出して参加してきました。

相変わらずの迫力と独特の視点からの報告に私の認識の甘さを痛感し刺激をもらいました。その一つが日本の労働賃金が安い状況であるので理科大学の卒業

生が東南アジアに引き抜かれているそうです。人材不足で給与を上げ、休日出勤 残業も少なくなって売上は上がり労働分配率は上がり財務内容は仕事が忙しい割には良く無い状況です。このような経営環境の中で、これ以上給与を上げ、労働時間の短縮に取り組むことが我が社に出来るのか大変不安になりました。経営指針を作り、就業規則を見直しなが経営環境を改善しそれでも利益の上がる会社になければならないとの事でした。

中小企業は社員を最も大切にすべきある。そして、将来投資型経営を中小企業はしなければならないと報告されました。自分の努力を差し置いて中小企業だからできないとできない理由ばかりでは会社は伸びない。未来を拓くには経営トップの貴方がその気にならなければならない、要するに経営者の覚悟次第で会社の未来が決まる。自分自身の甘さを痛感し、強烈な刺激をお土産に帰って来ました。

第11分科会

もらったバトンはあと3年!!

～百年企業の未来予想図～

(有)秋村泰平堂 代表取締役 大阪同友会 秋村 敬三 氏

佐世保支部 松尾 慶一

青年経営者の全国大会、久しぶりかな？その若者たちの中に私は事業承継する側として参加しました。当然、第1目的は全研のPRです。しかしグループ長の依頼が来ましたので、喜んでお引き受けしました。やっぱり役得ですね。グループ長をさせていただいたお陰で27歳～42歳の皆さんの本音を聞き出すことが出来ました。生まれも育ちも環境も違いながら家業を存続発展していく為にチャンスを逃さずチャレンジし行動した結果が今ある。

しかし、このままで良いのか？これから何をしなければいけないのかを模索し続けている。そんな思いの年商1億～100億の皆さんでした。

報告者の秋村さんの内容がとても良かったうえにグループ長が話しやすい場をつくれますので、恐らく普

段は話さない突っ込んだ所まで自分の立ち位置を話していただきました。

そこで一番大事と皆で共有したのが人間関係でした。単に親子での事業承継と言うのは報告者と私だけで他の皆さんは叔父だ、叔母だ、祖母だ、母の再婚相手だ、等々語りつくせない程の内容です。だから、そういう人間関係とどの様に対峙し関わる社員さん達とも話し合い支え合って行く事の大切さを共有しました。

2日目の特別報告がまた素晴らしかった。長崎にも来て話していただいた(株)宮崎本店の宮崎由至会長の経営者としての考え方、まさに事業承継は、社長交代ではない。単に社長を交代しただけでは事業承継とは言えない。本当の事業継承とはお金と人事を承継する事です。又自己資本比率は33%超えないとなりません。

そして大企業は期間利益を追求しますが、中小企業は社員さんの未来投資型です。欧米は同族会社をファミリービジネスと誉めます。その様なあなたの会社の強みは何か？それを一番良く知っているのはライバル会社です。しかし、ライバルは決して教えてくれない。

それを教えてくれるのは同友会なのです。経営理念は戦略です。経営理念を生かす為には戦術が必要です。まさに同友会は経営を語る会です。決して運営を語る会ではありません。

最後に記念講演の玉城絵美さんのお話は驚きの初体験でした。将来、居ながらにして離れた場所でのロボッ

トが体感してくれるという怖いような研究に没頭されている玉城さんに近未来映画の結末を連想しました。しかし最後の最後に沖縄青全交エンディングビデオを見て昨年9月に茨城からバトンを受けての取組と来年の熊本へのバトンタッチまでを簡潔に表現していただき、心に残る青全交でした。

九州・沖縄ブロック事務局研修交流会 参加報告

開催日：12月7・8日（金・土） 会場：長崎シティホテルアネックス3



<研修全体を通して>

事務局長 山田 幸司

本研修は2年に1度開催し、今回は長崎同友会が設営担当、40名の参加でした。

一日目は、同友会事務局員としての成長へのステップ（キャリアプラン）を作成し、互いの成長の礎とする内容でした。

また、長崎での開催ということで、二日目は、平和学習に取り組み、ボランティアガイドさんに説明を受けながら、原爆資料館等を回り、下平作江さん（当時10歳）から、壮絶な被爆体験を直接伺いました。今後、取り組むべきことに気づくと共に、九州・沖縄ブロックの結束とありがたさを改めて痛感いたしました。

<1日目研修について>

事務局次長 峰 圭太

1日目の研修は「めざす事務局員像に向けての成長の道すじ」という内容で、各地から提出された入局暦に応じた業務内容のあるべき姿のプレゼンから始まりました。それぞれ入局から3年、5年、10年と経験を重ねることで会内、会外との関わり方も成長して行かなければなりません。今の自分の立ち位置と他県局員の情報を共有しながら、今の役割を再認識できました。後半、各地次長クラスの皆さんとのグループディ

スカッションではグループ長をさせていただき、グループ長の学びも再度得ることができました。

会全体の運動が活発になり、事務局に求められるスキルや知識も増えることは明白です。役員をはじめ各会員、局員同士の連携を図り、ますます運動の発展に努めていくことを再認識させていただきました。

<2日目研修について>

事務局 主任 田口 友廣

私自身長崎出身で、原爆資料館に行ったこともあり、小学校・中学校と平和学習を受けました。しかし改めて訪問し平和案内人の方から詳細なお話を伺うことで新しく学ぶことも多くありましたし、過去に学んだけれども忘れてしまったことを思い出すことができました。

そして下平氏の講話では、本当に悲惨な体験をされた生の声を聞くことで、今私たちが暮らしている平和な社会が先人の多大な苦勞の上にあることを感謝しなければならないと思い、また原爆について・平和について一度学んだから終わりではなく、繰り返し学び続け、被爆地の長崎の人間として平和を発信することの大切さに気付かされた半日でした。

今回は貴重な学び機会をいただき、ありがとうございました。

<研修に初めて参加して>

事務局 森川 健吾

九州・沖縄ブロック事務局研修交流会には初めて参加させていただきました。

二日間の研修を通して、事務局員としてのあり方を考えながら、他県の事務局員の方々と意見交換をさせていただき、多くの刺激や学びを得ることができました。

また、平和についても改めて学び、考えるなかで、この平和が続くように私たち一人ひとりが強く思いを持つことが大切だと感じました。

今回はこのような貴重な機会をもうけていただき本当にありがとうございました。

事務局 吉田 藍子

今回事務局研修交流会に初めて参加させていただきました。事務局員としてのめざす姿を具体的にあらわし、共通認識するという目的で行われ、他県の実務の現状を知ることができました。交流しながら色々な視



点で学ぶことができたこの研修で、私は今後同友会運動の発展のために、理解を深めるよう取り組んでいきたいと思います。今回の学びを持ち帰り実践していきたいと思います。このような貴重な機会をいただきありがとうございました。

ダイバーシティ委員会 アンケート結果報告

長崎同友会 ダイバーシティ委員会では、2018年10月に716名を対象にアンケートを実施、125名から回答をいただきました。回答率（17.4%）

ご回答いただいた皆様、ありがとうございました。下記にて簡易分析結果をご報告いたします。

図①「障がい者雇用をしていますか？」という設問に対して、16%（20／125）の会員が雇用していると返答しています。障がい者雇用に興味がある会員がアンケートに返信いただいたということを考慮しても、雇用をしている企業の広がりが読み取れます。⇒ダイバーシティ委員会では定着率についても注視し、定着率を伸ばすための取り組みについて、今後は学びを深める必要があると考えています。

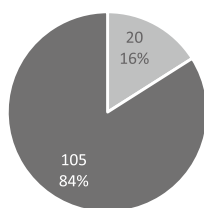
図②「女性の雇用をしていますか？」という設問に

対して、85%（107／125）の会員が雇用していると返答しています。その中でも図③「シングルマザーの雇用をしていますか？」という問いに対して、39%（41／106）が雇用していると返信しています。厚労省の資料が示す一人親世帯の労働力率と比較してかなり高い数値が示されています。

図④また女性のキャリア形成について取り組んでいるのは、25%（25／125）と返答がありました。⇒定着率を伸ばすためにも、働く女性の環境づくりについて今後取り組む必要があるのではないのでしょうか。

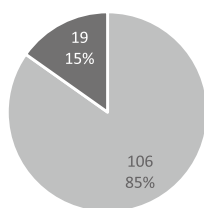
図⑤「高齢者（65歳以上）の雇用をしていますか？」という設問に対して、39%（49／125）が雇用していると返答しています。

図① 障がい者雇用をしていますか？



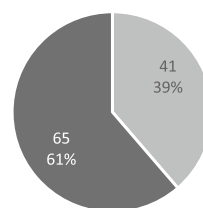
■ している ■ していない

図② 女性の雇用をしていますか？



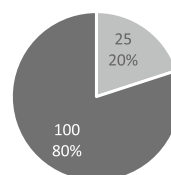
■ している ■ していない

図③ シングルマザーの雇用をしていますか？



■ している ■ していない

図④ 女性社員のキャリア形成に取り組んでいますか？



■ している ■ していない

⇒雇用していないところも多くあり、業種にとっては雇用のチャンスとともとらえることができないのか、またどのような働き方ができるのか今後考えるべきところでは。

図⑥「外国人の雇用をしていますか？」という設問に対して、10%（12／125）が雇用をしていると返答しています。

⇒のちの設問においても外国人の雇用については興味を多くの方が持っているものの、まだまだ雇用に至っていない方が多いと読み取れます。

図⑦「LGBTを知っていますか？」という設問に対しては、78%（97／125）が知っているという返答しています。しかし具体的な配慮・取り組みに関してはなされていないという意見が多くありました。

図⑧「今後雇用を検討している、または興味があるテーマ」という問いに対しては障がい者（43回答）、女性（51回答）、外国人（47回答）、LGBT（12回答）、その他（38回答）となっています。⇒障がい者、女性、外国人に対する雇用の検討や興味は同程度に高く、今後ダイバーシティ委員会ではバランス良く学びの機会を作るべきと考えています。

図⑨「今後、特別支援学校の生徒（障がい者）の職場実習の受け入れを希望しますか」という問いに対して、はい18%（23／125）、いいえ37%（46／125）、分からない45%（56／125）という返答がありました。⇒「分からない」という返信が

半数を占め、まだ受け入れの余地があるのではないかという感想を受けています。

<総じて>

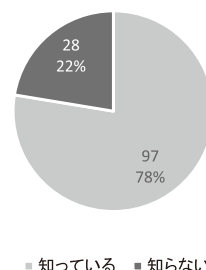
アンケートの結果により、各分野ともに進んでいる、積極的に取り組んでいることが読み取れました。今年度は7月に「外国人」をテーマに、11月に「障がい者」をテーマとして例会を開催しました。会員の興味としては「働く女性の環境づくり」についても高く挙げられているため、来期以降は委員会としてバランス良く勉強会・例会等の開催を検討しています。

また様々なテーマにおいては入り口として広げるところ、より専門性を深めるところがアンケートにおいて明確になりました。

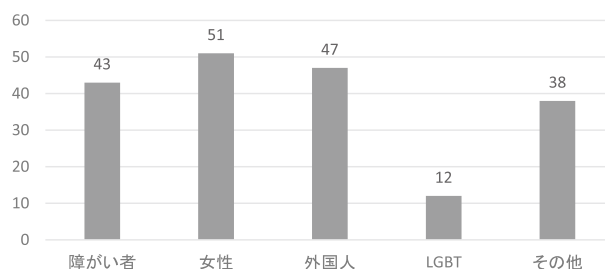
今後皆様の貴重な意見を参考に、委員会活動に生かして参ります。

（文責 事務局 田口 友廣）

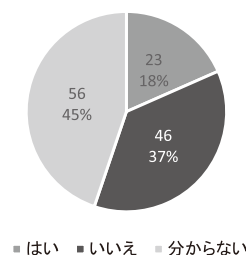
図⑦ LGBTを知っていますか？



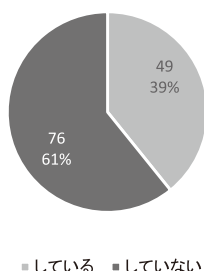
図⑧ 今後雇用を検討している、または興味があるテーマ（複数回答可）



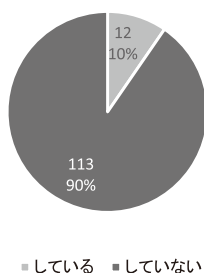
図⑨ 今後、特別支援学校の生徒（障がい者）の職場実習の受け入れを希望しますか



図⑤ 高齢者(65歳以上)の雇用をしていますか？



図⑥ 外国人の雇用をしていますか？



長崎新聞 12月4日
長崎浦上支部 谷川 喜一 会員

長崎新聞 12月23日
諫早支部 佐藤 快信 会員

業務の内容や 事業展開質問

学生と県内企業交流

県内企業の採用担当者や学生らが就職について気軽に意見交換する「キャリアコネクトカフェ」が11月30日夜、長崎市茂里町のみらい長崎コワーキングであった。

県内企業の魅力を知ってもらい、就職活動の参考にしてみよう、と、県と長崎新聞社が発行する県内の大



意見交換する学生と企業の専任社員ら。長崎市、TSUTAYA A BOOKSTORE

学・企業・就活情報紙「NR」が開催。長崎バスグループの協力を得て実現した。参加企業は啓正会、OCOアドバンス、谷川建設、長崎新聞社、橋本商会、本田商會、ヤベホームの7社。

長崎大と県立大、長崎純心大の1、4年生22人が普段着で来場した。飲み物を片手に学生が企業のテーブルを回り、業務概要や今後の事業展開、配属先の決定方法などを質問。「何が就職先を決めるポイントになったか」「仕事の目標はあるか」などと尋ねて意見を交わした。

啓正会のブースはテレビゲームを設置。社員と学生が共に楽しむ場面もあった。担当者は「医療福祉の現場で楽しく働く社員のことを知ってもらうために企画した」と語った。

参加した長崎純心大こども教育保育学科2年の渡辺詩織さん(20)は「業務内容や社員の人柄まで分かったので今後の参考にしたい」と話した。(白石彩乃)

会員活躍

☆一足早いクリスマス☆

なぞのサンタさん今年も

諫早 留学生にプレゼント



プレゼントを受け取る留学生＝諫早市西米田町、長崎ウエスレヤン大ピースチャペル

諫早市の長崎ウエスレヤン大の留学生に今年も「なぞのサンタさん」からクリスマスケーキが届いた。母国を離れて学ぶ学生らに対し、1983年から匿名でケーキが贈られるようになり、99年からは2代目が引き継いでいる。学内のピースチャペルで20日、サンタクロースに扮した職員らが43人にケーキを手渡した。佐藤快信学長は「贈り物を続けていただいてる気持ちに思いをはせ、宗教や民族を超え、他人への思いやりを大切にしたい」とあいさつした。中国の陳思沛さん(20)は「人生の中で、最も忘れら

れないクリスマス」、韓国との交換留学生、張海鍾さん(22)は「ここの冬は温かく過ごせる」と感謝の言葉を述べた。(柴田英樹)

長崎新聞 12月26日

長崎浦上支部 中村 鉄男 会員

サンタ姿で清掃

長崎の工務店従業員ら

住宅リフォームなどを手掛ける「中村工務店」の社員ら約40人が25日、サンタクロース姿で長崎市松山町の同社周辺の歩道を清掃し



枯れ葉を集める参加者
＝長崎市松山町

た。同社は長年、環境美化活動に積極的に取り組んでいる。参加者がサンタの衣装や帽子を身に付け、同社前から長崎北郵便局(川口町)までの間の枯れ葉やたばこの吸い殻を拾ったり、雑草を取ったりした。中村鉄男社長(51)は「まちをきれいにすることで、地域の方に笑顔を増やしたい」との思いで取り組んだ」と話した。(白石彩乃)

女性の活躍を考える

活水女子大でセミナー



企業担当者、右の説明を聞く学生。長崎市、活水女子大

若者が企業担当者や意見交換しながら将来の働き方について考える「学生向け女性活躍推進セミナー」が3日、長崎市東山町の活水女子大であった。「ながさき産学官でつくる」で、ながさき女性活躍推進会議主催。同会議は2014年に発足

し、男女ともに働きやすい職場環境づくりや女性管理職登用の促進を目指し、活動している。学生向けセミナーは初開催。同大のキャリア形成講座の一環で3年生70人が聴講した。2008の会員企業、団体の中からAIG損害保険長崎を募集していた」と感想

を述べた。

銀行、親和銀行、九州教員など10社が参加。担当者が休暇制度や就業規則、業務内容などについて紹介し、学生は日々のスケジュールへ向け、自分がどう働きたいか、自分と考えるべきことを話した。

同会議は会員企業を随時募集している。問い合わせは事務局、電話095・822・0245。(嶋田嘉子)

事務局企業訪問

今回は長崎出島支部：(株)ホロスプランニングの
加瀬和利会員を訪問しました。



神奈川育ちの加瀬さんは大学卒業後システムエンジニアとして働いていました。同級生が長崎の会社のご子息という縁から長崎で働くことを決めたのは25歳の時。慣れない長崎の地で仕事をしていましたが、そこからまた別の縁で自動車のセールス業を経てソニー生命の保険マンとして独立しました。27歳、お客様は17人からのスタートです。

保険マン「加瀬」の仕事は、とにかく人脈をつくることから始まりました。保険の仕事はお客様から別のお客様を紹介いただくことで広がっていきますが、加瀬さんはある一人の経営者の方と出会い、引っ越しの手伝いや結婚式への参加など、頼まれたことは笑顔で引き受けることで信頼関係を構築。結果的にその経営者から100名ほどご紹介いただくということもあったそうです。保険以外のことも相談、頼まれることが多い加瀬さん。お客様のご要望に沿って、喜びや悲しみなどを共有し、「寄り添う」ことで一人ひとりの大事な保険を預かっています。

ソニー生命からホロスプランニング社に移り独立、取り扱い可能な保険が30社ほど増えたのは約13年前。その寄り添う気持ちのベースにあるのは傾聴です。自分のことを話すより、お客様がどのような人で、どのような人生プランを考え、趣味や家族構成まで傾聴することが好きだと話します。お客様のお話を、まるでスクリーンショットのように場面ごとにカラーの絵を頭の中で描く。傾聴することで描かれるそれぞれのお客様の絵は加瀬さんの中に何百枚も蓄積され、保険という目に見えない大きな力で守られています。

保険業以外にも、知り合いからのご紹介で太陽光発電、アパート経営など多面的な事業を展開する加瀬さんですが、今後同友会で学んだダイバーシティを生か

していきたいというビジョンを持っています。仕事上一人で動くことが多いため、雇用という観点ではダイバーシティ経営の実践が難しくても、障がいを持つお子様にどのような経済的安定を図れるか、保険という側面から家族を支えていくプランを検討しています。そのためには成年後見人制度や相続に関する勉強を重ねていきたいと真剣な眼差しで話しました。

同友会活動では2019年2月に開催される全研の懇親会部会長を務められます。普段は一人で動くことが多い中、組織で動くことの大切さを痛感しながら日々笑顔の加瀬さん、今後の同友会運動に次の2点を取り入れたいとのことです。1つ目は小学生、中学生による企業見学の受け入れ。夏休みなどを利用して子供たちが企業見学を行い、地元長崎の企業をもっと知るきっかけをつくりたいと話しました。2つ目は保険の無料相談窓口。生保・損保など保険分野でもスペシャリストがそろっている同友会ですので、あらゆる相談に同友会だからこそできる中立の立場で相談にのれるのではないかと考えています。これは会員（企業経営者）だけではなく、その社員さんの相談まで受けることができればトータル的にサポートできるということです。

お客様だけではなく、色々な人に笑顔で受け入れられたい、そのためにも期待を裏切らないように精一杯人と向き合う加瀬さんの今後ますますのご活躍を祈念します。

<会社概要>

(株)ホロスプランニング

長崎市栄町5-5 FM長崎ビル6F

TEL：095-818-8288 FAX：095-818-8289

(文責 事務局 峰 圭太)



新入会員の皆さんです <1月入会・復会>

< 入 会 >



支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	さかえ のりよし 榮 紀祥			
企 業 名	栄社会保険労務士事務所			
役 職 名	所長			
企 業 住 所	〒850-0035 長崎市元船町7-5 広瀬ビル3F			
T E L	095-507-0100	F A X	095-829-3920	
業 種	社会保険労務士			
企 業 P R	企業の労務管理に関する経営支援業務を主に行っております。 相談・顧問、雇用関係助成金の受給支援、申請代行、労働・社会保険関係の申請書類や就業規則等の帳簿書類の作成・提出代行、給与計算等の各種事務代行などお役立て下さい。			
スポンサー	森山 博史			



支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	し き やすのぶ 志岐 康信			
企 業 名	(株)Sky			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒 850-0944 長崎市八景町 11-18			
T E L	090-7980-9296	F A X	095-822-6572	
業 種	一般・産業廃棄物収集運搬業			
企 業 P R	＜事業内容＞ 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、貿易事業、古物の売買、事務所移転、運送業務全般、ハウスクリーニング			
スポンサー	安井 忠行			



支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	たがわ あけみ 田川 明美			
企 業 名	アンティーク きものべっぴん			
役 職 名				
企 業 住 所	〒850-0905 長崎市籠町6-3 マシェール唐人坂102			
T E L	090-8390-6870	F A X		
業 種	アンティーク着物販売業			
企 業 P R	大正～昭和初期(戦前)のアンティーク着物をお手頃な価格で販売します。現代の着物にない斬新な柄・上質な生地・職人の手仕事の技を感じていただき、普段着として着ていただけるようコーディネートも致します。その他イベント・リメイク教室など行っております。			
スポンサー	中村 こずえ			



支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	たなか ようこ 田中 陽子			
企 業 名	リフォームらいと(株)			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒851-0133 長崎市矢上町21-5			
T E L	095-801-3456	F A X	095-801-3450	
業 種	建設業			
企 業 P R	「女性プランナーによるきめ細かいプランニング」を大切にし、住宅・マンションのリフォーム、店舗の改修をさせていただいております。「しっかり」「ちゃんと」施工させていただく事を胸に落し、お客様の想いの詰まったリフォームに寄り添ってまいります。			
スポンサー	菅原 千代枝			



A 10x10 grid of plus signs (+) on a white background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

投稿募集のご案内

- 文字数／約 500 字
●画像／歓迎します
☐掲載／情報広報委員会にて選考
☐投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで
☐メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月20日～月末に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。
 ます。ご利用お待ちしております。

支 部 名	島原支部			
氏 名	てらだ ひろし 寺田 宏			
企 業 名	あしたば整骨院			
役 職 名	院長			
企 業 住 所	〒855-0875 島原市中安德町丁4336			
T E L	0957-63-7868	F A X	0957-63-7868	
業 種	整骨院			
スポンサー	山内 常代			

支 部 名	島原支部			
氏 名	のうち よしひろ 野内 仁博			
企 業 名	のうち製麺			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒859-2202 南島原市有家町山川454			
T E L	0957-82-8603	F A X	0957-82-8797	
業 種	製麺業			
企 業 PR	島原手延べそうめん作りを初めて3代目となりました。お客様にのうち製麺の商品を通して驚きと感動を与える麺づくりを目指しています。今後も手延べ麺をより身近に感じていただけるよう、季節を問わない『新しい麺の楽しみ方』をお伝えしてまいります。			
スポンサー	山田 崇生			

支 部 名	島原支部			
氏 名	ふるせ ともひろ 古瀬 智裕			
企 業 名	(有)ふるせ			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒859-2204 南島原市有家町蒲河341			
T E L	0957-82-2394	F A X	0957-82-5485	
業 種	製麺業			
企 業 P R	国家資格でもある単1等級技能士の資格を取得し日本名水百選に選ばれるほどおいしい雲仙山麓の上質な水と、厳選された小麦粉を使い伝統的な製法で丹念に熟成を重ねしっかりとした「コシ」の強いそうめんを作っております。また、体に良いと言われている雑穀を練り込んだ「五穀麺」や、今まで製造元でしか食べられなかった稀少な『生』の素麺を商品化したりなど、既成概念にとらわれない様々な麺づくりをしています。			
スポンサー	山田 崇生			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	おうぎやま たくや 扇山 拓也			
企 業 名	(有)西和建機			
役 職 名	営業課長			
企 業 住 所	〒859-3242 佐世保市指方町623-4			
T E L	0956-58-6677	F A X	0956-58-6688	
業 種	建設機械リース・販売、資材販売			
企 業 PR	地場のリース業者として、ミニショベル、現場ハウス等を取り扱っています。			
スポンサー	村山 隆之			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	辻 栄太			
企 業 名	総合保険代理店ウィズラン			
役 職 名	共同代表			
企 業 住 所	〒 857-0843 佐世保市大黒町 238			
T E L	0956-55-3179	F A X	0956-55-3179	
業 種	保険業・福祉事業・小売業			
企 業 P R	損保ジャパンの代理店になります。グループ会社の活動としては税理士業、障がい者福祉事業、アクセサリー小売業などを行っています。よろしくお願い致します。			
スポンサー	綿川 淳子			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	はら あけみ 原 朱美			
企 業 名	ゲランみつこ			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-0878 佐世保市山県町1-3 大川ビル3F			
T E L	0956-25-6210	F A X	0956-88-8983	
業 種	飲食業・ドッグサロン			
スポンサー	平倉 浩			

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	りきたけ たかこ 力武 貴子		
企 業 名	着付教室 はるいろ。		
役 職 名	代表者		
T E L	0956-80-3510	F A X	
業 種	着付教室・出張着付		
スポンサー	関 ひろみ・村上 敦子		

< 復 会 >

支 部 名	島原支部			
氏 名	やました ひろふみ 山下 博史			
企 業 名	(株)堀内組			
役 職 名	取締役			
企 業 住 所	〒858-0908 佐世保市光町109			
T E L	0956-47-2127	F A X	0956-48-5069	
業 種	総合建設業			
企 業 P R	HORIUCHIグループは、60年築き上げてきた総合建設業の技術を中心として、様々な新規事業を連携し、「ノウハウと資源の共有」による新しい経営革新を行っています。連携体制をグループ全体の成長につなげ、「地域から必要とされる企業」としてより幅広く地域に貢献することを目指しています。			
スポンサー	松尾 慶一			

1 月理事会 報告

1 月 7 日(月) パークベルズ大村 出席 27 名 欠席 7 名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願
いします。いよいよ 2019 年になりました。全研成功
に向けてご協力よろしくお願ひします。

仲間づくりについて

1) 入会・交代・企業変更・退会の承認について - 2 名の入
会、2 名の交代、1 名の企業変更、3 名の退会を承認

2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

・ 山口副仲間づくり委員長 総括 - 12 月 6 日仲間づく
り委員会を開催、増強デーの結果は 1 位が 5 名。最優
秀支部賞は長崎出島支部でした。仲間づくり委員会の中
では来年は 1,000 名、その翌年を 1,100 名と
意思を固めました。課題としては支部全体での仲間づく
りの意識の向上です。数の力を理解していただくこと
で仲間づくりができると思っています。1 月 17 日
は今期最後の増強デーです。全研を盛り上げるために
も、県全体で増強をしていきましょう。そのためには
各支部長・委員長の協力が必要です。どうぞよろしく
お願ひします。

・ 金井代表理事 - 数字の伸びが悪いです。委員会のメン
バーだけでなく、一般の会員に協力を求め、すそ野を
広げていく必要があります。

・ 山田局長 - 1 月の増強デーで紹介いただいた方は、2
月の理事会で承認・入会となります。2 月はすぐに全
研があり、支部例会もありませんので、各支部でのフォ
ローをお願いします。

協議・承認事項

1) 長崎同友会 第 5 次ビジョン(案)について - 金井代表
理事・川上ビジョン委員長

→ 第 5 次ビジョン(案)について各支部・委員会での協議
を依頼。また、各委員会においては 4 次ビジョンに対
し、未達事項の改善案を記入いただけるようアンケート
の再度の回答を依頼。

2) 来期に向けて

・ 活動方針案について - 金井代表理事
→ 各支部に検討いただいた結果の三役会案を承認

・ 組織体制ならびに委員長人事について - 金井代表理事
→ 前回理事会提案の委員長人事を承認

・ 予算案について - 山田事務局長(上野財務委員長代理)
→ 三役会からの提案を承認

・ 議案書について - 支部委員会まで掲載(先月決議事項)
(締切 2 月 28 日(木))

→ e.doyu 掲示板にフォームを掲示しています

・ 第 48 回定時総会について

(前回までの決議事項)

・ 開催日 - 4 月 19 日(金)

・ 開催地区 - 多くの会員の皆さんに参加していただくた
めに、今後は県央地区で開催

・ 会場 - 諫早観光ホテル 道具屋(藤原会員)

・ 式次第案を承認

・ 会費 - 5,000 円

(懇親交流会不参加の場合は無料)

記念講演 講師について

→ 提案いただいた分を検討した三役会案を承認

北海道同友会 (株)植松電機 植松 努氏

3) 賀詞交歓会について(1 月 15 日(火)) - 山田事務局長
(前回までの決議事項)

・ 会場 - ホテルニュー長崎 ・ 会費 - 5,000 円

・ 動員目標並びに予算案を承認

各支部目標達成に向けた動員を依頼

4) 2019 年度 経営フォーラム(担当 諫早支部)につ
いて - 馬場支部長

《三役会からの提案》 - 諸条件変更のため、再度支部で
の協議を依頼

＜前回理事会提示事項からの変更点＞

・ 開催日 - 10 月 19 日(土) (前回 10 月 18 日(金))

・ 設営等に関して - 記念講演会場としての、プレイホー
ル(体育館)等はシートを敷き土足で歩けるよう対応し、
椅子や机の会員での移動はなく、諫早支部会員での設
営が可能とします。また、レストランでの、後片付け
などは、自然の家の職員の皆さんのご協力のもと、あ
りません。

報告・連絡事項

1) 12 月 県本部・支部・委員会等の活動状況について
《委員会等》(抜粋)

経営 労働	活動計画
	1) 経営者塾の開講 12/4 働く環境づくりのガイドライン勉強会 開催 5 名参加 12/6 経営者のための財務勉強会 開催(石 橋会員) 18 名参加 12/21 企業変革支援プログラム ステップ 2 参加者 1 名のみで取り止めた
	2) 経営指針実践セミナー 2018 の開催 県主催 12/8 No.6 開催 8 名参加/20 名申込 島原 12/11 No.3 開催 5 名参加/7 名申込 北松 12/17 No.3 開催 10 名参加/12 名申込
	3) 県委員会活動、支部委員会活動の活発化 - 今回 は活動なし
	4) その他

	(当日の補足として) 経営者塾を中心に活動を引き続きやっていきます。1月末に全国の委員長の会議があります、中同協の方針も出ると思います。現在、各支部の委員会活動がうまくいっていません。来期に向けて支部の委員会活動が活発にできるようにしていきたいと考えています。また今後の理事会では経営者塾の方向性を報告させていただきます。
共育	年間の予定は順調に実施しています。経営者とスタッフ向けのセミナーのみは外していますが、全体の活動としては4次ビジョンを達成しています。
政策	■ 12/11(火) 長崎全研第12分科会報告に向けた園田市長とのミーティング 【参加者】園田市長・時政策委員長・宮田座長・下坂室長・谷副室長 大会の全体構成と担当していただく第12分科会の概要を市長へ説明。行政長として民間との連携をどのように展望するのか、また今後同友会に期待することについての考えを拝聴し、当日の報告内容に反映していただくよう依頼した。 ■ 12/17(月) 長崎全研第3回分科会部会@シーハットおおむら ■ その他 「長崎県景況調査(企業ヒアリング調査)について」今月末に全ての報告書について完成予定。これを基に3月開催予定の景況調査報告会についての検討を始める。
ビジョン	12月17日(月) 第9回委員会を開催。 ・松本共育委員長・橋口共同求人委員長にご出席いただき、第5次ビジョンについて協議・決定しました。 ・全委員会の第5次ビジョンが決定しましたので、ビジョン到達への「7つの柱」と共に1月理事会で提案します。加えて、12月に各委員長より提出いただいた第4次ビジョン進捗アンケートの補足記入を説明・依頼させていただきます。
ダイバーシティ	・1月9日(水)、2月4日(月) 全研シミュレーション ・2月21・22日(木・金) 全研第6分科会担当(報告者は中村こずえ副代表理事、菅原委員長) ・3月 全研分科会の反省会、勉強会予定

青年経営者会	(安井会長)12/18の臨時総会では、来賓にも多く参加いただきありがとうございました。来期の会長として飛田さんが承認されました。また12月には長崎市内の児童養護施設を周り、触れ合うこともできました。青年経営者会の会員は見込みも入れて77名です。これからは島原・佐世保・北松浦としっかり増やしていきます。1/29 19:00からアルカスSASEBOで例会をします。ぜひ青年経営者会の活動を見ていただきたいと思います。 (飛田次期会長)先月の臨時総会で来期の会長を承認いただきました。何も分かりませんがしっかりと頑張ります。よろしくお願いします。
--------	---

2)例会について(更なる充実をめざして)－本多例会委員長(代理：田口事務局員)
・各支部へのヒアリング

3)第49回中小企業問題全国研究集会について(2019年2月21・22日)－松尾実行委員長
・長崎同友会で2分科会を担当
(「ダイバーシティ」と「政策」)
報告者
ダイバーシティ
中村副代表理事・
菅原ダイバーシティ委員長(座長 原田委員長)
政策

園田大村市長・
時政策委員長(座長 大村支部 宮田会員)

松尾－全研まで45日となりました。まだ45日もあります。全国から740名を超す登録があるにも関わらず、長崎の登録は110名ちょっとです。この数字はいかんともしがたい数字です。参加促進よろしくお願いいたします。

4)その他
・長崎新聞の元旦号のトップインタビューで長崎同友会(金井代表理事)掲載の紹介
他、多数の会員さん、会員企業が掲載されています。ぜひe.doyuをご覧ください。

※次回開催確認 2月7日(木) つくば倶楽部

会員動向

●企業住所等変更 **金井 政春 会員** (大村支部)
新住所：〒856-0017 大村市荒瀬町1022-1
新TEL番号：0957-46-6003 新FAX番号：0957-46-6005

織田 哲平 会員 (島原支部)
新役職：社長

会 員 数 (1月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	150	130	125	100	100	200	55	45	(1000)
期首	113	105	87	79	66	160	43	31	684
現在	112	109	100	87	71	182	43	32	736

退 会 者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支 部 名	入会年月
中 村 優 次	(有)中村米穀	長崎出島	1987年 2月
藤 井 誠	大村M・T建設(株)	大 村	2018年 6月
前 田 典 則	(株)沖道	佐 世 保	2014年 2月



世界新三大夜景認定
長崎の夜景



世界遺産
軍艦島(廃島)

Nagasaki



長崎ランタン
フェスティバル



世界遺産
大浦天主堂

平成の☆は
長崎全研ぽい!

第49回 中小企業問題全国研究集会 in 長崎

時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践 「人を生かす経営」を広げ、地域再生を

2019年

2 / 21 (木) · 22 (金)

会場

- ホテルニュー長崎
- ルークプラザホテル
- サンプリエール
- ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション

開催概要

日程 2019年2月21日(木)22日(金)
会場 ● ホテルニュー長崎(第1分科会、懇親会、2日目全体会)
● ルークプラザホテル(第2～第5分科会)
● サンプリエール(第6～第8分科会)
● ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション(第9～第12分科会)
※受付は各分科会の会場にて行います。

参加費 23,000円(宿泊費別)

スケジュール

2月21日(木)	2月22日(金)
12:00 受付開始	9:00 全体会開始
13:00 分科会開始	「被爆地の市長として -Peace from Nagasaki-」 長崎市長 田上 富久氏 記念講演「夢持ち続け日々精進」 (株)A and Live 代表取締役 高田 明氏
18:00 分科会終了	12:00 閉会
移動	
19:00 懇親会開始	
20:45 懇親会終了	



長崎全研特設ページ
www.doyu.online

主催 中小企業家同友会全国協議会(中同協)
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16市ヶ台KTビル3F
電話:03-5215-0877 FAX:03-5215-0878 HP:www.doyu.jp

設営 長崎県中小企業家同友会
〒850-0875 長崎県長崎市栄町1-20大野ビル5F
電話:095-822-0680 FAX:095-824-4623 HP:www.nagasaki.doyu.jp

※大浦天主堂の聖長廟・聖長廟に当たっては本掲載の扱いをいたしております。